

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		法人の大きな理念に基づいた、グループホームならではの独自の理念を制定してはどうか。	現在進行形で行っている、ご利用者様の個性や生活史を尊重したケアを理念に掲げ、ご利用者様が持っている能力を最大限発揮できるような活動に、より積極的に取り組めるようにする。	再度、今の取り組みについて職員に言語化して伝え、より理念を意識したケアが実践できるように取り組む	3ヶ月
2		運営推進会議の書面開催が続いているので、オンライン開催の検討をしてみてもどうか。また、会議録としての適切な記録が不足している。	オンライン開催にむけて、法人本部との話し合いに着手する。また、会議録は、適切な記録になるようフォーマットを変更する。	①オンライン開催についての許可、地域参加者への可能かどうかのアナウンスを実施する ②会議記録のフォーマットを変更し、参加者氏名が明記できるようにする	6ヶ月
3	26	長期目標の内容が、現在大きな目標となっている。具体的に本人様らしさが分かる設定にするより良いのではないか。具体的な目標を設定する事で、達成に向けての方向性が分かりやすくなり、職員の意識も統一出来るのでは。	ケアプランを見ただけで、誰のプランであるかが分かる事が出来るくらいの、ご本人様らしさがあるプランを作成する。	自発的に意見を伝える事が難しいご利用者様の意見も、ご本人様本位の視点に立った意見が代弁できる様に、日頃のケアを通してご本人様を理解し、得意な事ややりたい事を計画に反映する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。